



おばあちゃん、せんそうて...

皆さんのまわりには、80代90代のおじいちゃん、おばあちゃん、いらっしゃいますか？戦争体験のお話を聞いたことはありますか？
大人はもちろん、子どもたちに戦争体験の生の声を聞かせるという想いから、8/3宝珠院にて戦争体験もお聞きする会を開きました。
お話してくださったのは、大澤 悦子さん、安川 穂子さんです。

ーおはなしよりー

... 戦争中は食べるものは大根が主。久々に肉が出たと思ったら犬の肉だった。赤ちゃんを抱えたお母さんもおっぱいが出なくて、米をすってのぼしたものを乳がわりに与えていた。いつもひもじくて、楽しいことなんかなかった。
S19、御代田村に名古屋の陸軍造兵廠への召集令状が来て、当時19才だったお二人は名古屋の工場で航空機関銃の部品を作ることになった。
工場は24h稼働、昼夜交代で仕事する。工場は敵機に狙われるのでとても恐かった。一日に何度も空襲警報が鳴り、1km先の防空壕へ布団をかぶって走った。逃げている途中、土手にヒヤシンスの花が咲いていてね... こんなにきれいに咲いているのに戦争している... 切なかった。
体は油まみれ、でも空襲が度々来るのでお風呂に入る時間もとれなくて、何日も体を洗えなかった。
毎日毎日がこの世の最後と思っていた。B29が300機ほど恐ろしい音を立てて飛んでいくのも見た。空が真っ黒だった。空襲では「東条に騙されるな」「隆参いなさい」などと書かれたビラもたくさんまかれた。12月頃にはこの戦争には勝てないと思った。最終的に名古屋は何もない焼け野原に。男子も予科練や特攻隊に召集され、御代田村の同級生も命を落とした。今は平和に慣れてしまって心配... 戦争だけは絶対して欲しくない。
戦争を体験した世代がいなくなっているから怖い...



そして繰り返し言われていたこと「戦争は絶対しちゃいけない」。言葉の意味をこえた強い想いが、まなざし、表情、声色などを通じて伝わってきました。まだ小さな子どもたち、戦争についてあまりよくわからなくても、一番大切なことは伝わると思います... 戦争は恐ろしい、二度と繰り返してはいけない... ということ。1人1人のやわらかい心の底に、その想いが存在すること、それが平和な世界を築くねこになると思いました。また企画します (笑) (1)

戦争体験者の話を聞く会 行ってきました!!

県外から移住してきた我が家は、身近に戦争を語ってくれる世代がいません。そこで近所の小学生も引き連れて、おばあちゃんたちの戦争体験談を聞きに行きました。

子供達は戦争中の苦労話や、空襲で一夜で焼け野原になったことを聞き、戦争の恐ろしさを実感した様子でした。

小学生の感想

1. 小2男子

今の自分の生活と比べると戦争は怖いこととか悲しいことばかりなので、絶対戦争はやめてほしい。戦争、いつ始まるの？戦争ないように総理大臣に手紙書きたい。



1. 小4女子

戦争中はお菓子もない、食べ物も大根ばかりだ、聞いて自分にはそんな生活できないと思った。何のために戦争しているのかわからない。大人の都合で戦争をしないでほしい!!



1. 小6女子 (普段は英国在住)

学校では、ドイツとイタリアと日本が組んで悪いことをしたと習ったけど、今おばあちゃんの話聞いて、どっちが悪いとかないんだなと思った。戦争のない今の私の生活は、便利なものがたくさんあるし、家族や友達とも楽しく過ごせるけど、戦争になったら爆弾が落とされたら、そうゆう大事なものを全部失ってしまていやだ。戦争は絶対にしてはいけないと思った。

教科書では考えられない戦争体験者の生の声を聞いて、私も戦争の恐ろしさを肌で感じると共に、子供達の未来が安心して暮らせる社会になるよう、平和へのネグリをより強く持ち続けたいといけないと思いました。どんな人の心にも平和のタネが芽生えるように、御代田のおじいちゃんおばあちゃんたちの戦争体験の話を聞く会は、今後も会を重ねて戦争体験者からしっかりと平和への想いを受け継いでいきたいと思っています。 (2)